



子ども大学かわごえ

# CUK だより

第 46 号 NO.1307

2013 年 10 月 27 日

## 第 6 期 第 3 回 授業記録

日時 : 2013 年 08 月 12 日(月) 14:00 ~ 16:00

場所 : 東京国際大学 第一キャンパス 314 号室

テーマ : 渡辺真理さんと話そう!

講師 : フリーアナウンサー 渡辺真理 さん

### 【渡辺真理さんのプロフィール】

神奈川県横浜市出身。横浜雙葉小中高を経て ICU 国際基督教大学卒業。

1990 年に TBS に入社。1998 年からフリーアナウンサーとして活躍中。

< 今回の授業はいつもの講義形式ではなく、渡辺さんと学生達の質疑応答の形で進められた。 >

### 【自己紹介】

こんにちは。渡辺真理といいます。私はアナウンサーという仕事をしています。アナウンサーというのは、メインの仕事は記事を読むということです。アナウンサーが原稿を書くときもあるし、取材をするときもある。ただ最終的にこうやってマイクを通して皆さんに伝える、それがアナウンサーの仕事と言えます。インタビューして、それをテレビ、新聞で、雑誌で伝える、というのもアナウンサーの仕事です。



今日は私が一方的に皆さんに何かを教えるとか、話すとかじゃなくて、せっかく 2 時間一緒に教室で授業ができるので、ぜひ皆さんもこの授業を作っていくことを手伝ってください。皆さんからどんな質問が出るかによって私もいろんなことを話せると思います。今日は皆さんに正直にお話しようと思います。いいですか、皆さん授業を作るのを協力してくれますか？

< はい(学生) > ありがとうございます。

1 質問 いつ頃からアナウンサーになろうと思ったのですか？ また、アナウンサーになるためにしてきた努力を教えてください。

私は大学の 4 年生になったときに、就職課にきていたアナウンサーの募集を見て応募しました。皆さんはどんな仕事に就きたいの？ < 絵本作家とか > < ディズニーランドで働きたい > < 本屋さん > < オリエンタルランドの正社員 > 私は小学校の頃に作文に獣医さんになりたい、と書いたのは覚えています。皆さんがなりたいと思うことも、きっと思っていれば実現すると思いますけど、なれなかった場合、それじゃよくなかったのかということもそういうことでもなくて、私は獣医さんになりたかったなと今でも思うことはありますが、アナウンサーという

仕事はとても好きです。もうひとつの質問ですが、私はアナウンサーになるために何かやったわけではなくて、アナウンサーになってから、こういうことを努力しなきゃ、というのを思いました。

↓ 質問 色々な番組をやっていて、今まで朝をやっていたのに、急に次の日から夜の番組をやるようになったりした時に生活リズムって崩れないんですか？

TBSのアナウンサーだった時に、「ニュース 23」という夜の番組がありました。その前は平日の朝 8 時 30 分からの情報番組をしていました。会社に 5 時前くらいに着くように、毎朝 4 時起きでした。それを 6 年間くらいした後に、次の月曜日から夜 11 時のニュースになりました。そうすると、前の週は朝 4 時起きだったんだけど、次の週は寝るのが今度は明け方の 3 時とか 4 時だったりします。でも、早朝口ケで 4 時起きだったり、逆に夜中まで仕事、なんていう毎日毎日違うスケジュールのこともあるので、そっちのほうが大変な場合もあります。

↓ 質問 今までやっていた番組も含めて一番出演してよかったと思う番組は何ですか？



今 NHKBS プレミアムでやっている BS 歴史館という番組があります。坂本龍馬さんは亡くなった時に何歳だったか知ってる？ <30 歳くらい> はい、33 歳でした。若いでしょ。龍馬さんが 33 歳で亡くなる時にどんなことを思ったんだろうとか、皆さんと同じくらいの年齢の時どんな勉強をしていたんだろうとか、どんな風に悩んでそれをどんな風乗り越えてきたんだろうとか、皆さんがちょっと悩んで立ち止まったりした時のヒントというのは、歴史の中にいっぱい隠されています。なので、BS 歴史館という番組はとても面白いと思います。

↓ 質問 ニュースを読むときどんなことに気を付けて読んでいるか教えてください。

あ、い、う、え、お、って口を大きく開けて言ってみて。あ、い、う、え、お、<あ、い、う、え、お> よくなったね。あのね、「う」というのは縦に開きますよね、口が。縦に開く「う」とか「お」というのは、練習しないとなかなか大きな声で言えないんです。

それから難しいのは、伝えるということ。「伝える」と「伝わる」というのは、一文字だけ「え」と「わ」の違いなんだけど、すごく違うの。一生懸命伝えること、大きな声で、そして早口ではなく出来るだけゆっくりわかりやすく伝える。それが大切だと思います。

↓ 質問 アナウンサーの仕事で一番大変なことは何ですか？

なんか最近太った？ って女友達に言ったとします。ちょっとぽっちゃりしたかな、くらいの軽い気持ちで言っても、女の子がすごく傷ついちゃう場合もありますよね。言葉の選び方とか、言い方というのはとても難しい。テレビの場合、相手がどのくらい見てくれるかわからない中で言うわけです。例えば日照りが続いている時に今日は雨が降って良かった、とニュースで言ったとします。でも、雨ですごく被害が出ている地方もあったりします。そういう所の人たちにとってはなんてひどい一言なんだろうって思うよね。だから、できるだけ誰かを傷つせずに正確に伝えることが、ニュース番組にとってはとても大事。そこが一番難しいところかな。

↓ 質問 アナウンサーになるために練習した早口言葉で、一番難しいものを教えてください。

会社に入ると研修があって、まず呼吸法からやります。出来るだけながーく息を吸って、出来るだけながーく息を吐く、腹式呼吸というのを目指します。次に発声法をします。さっきの、あ、い、う、え、お、というような練習。それからその後に初めて早口言葉の練習をします。例えば東京特許許可局とか、青巻紙・赤巻紙・黄巻紙とかいいますよね。私たちが研修でやっ

たのはもっと長くて、外郎売(ういろうり)の行商人が薬を売り歩くときのせりふが早口言葉のようになっています。「せっしゃ親方と申すは、お立合いのうちにご存知のお方もござりましょうが、…」これが5分くらい続くの。それを暗記して研修の半分かな。その後に読む、レポートする、そんなことが始まっていきます。私が一番難しかったのはこの外郎売でした。

↓ 質問 一番印象に残ったテレビってありますか？

ニュースステーションという番組がありました。そこで私にとっては師匠、先生といったらいいかな、久米宏さんというアナウンサーと一緒に仕事をしました。ニュースを読むということ、伝えるということなど2人で話して鍛えられたし、私にとっては厳しい先輩ですが、久米さんと一緒に仕事が出来たということはとてもありがたかったと思っています。

↓ 質問 司会をするときにどんなことを注意していますか？

限られた時間の中で出来るだけ今と一緒に沢山の意見が出ればいいな、ということに気を付けているかもしれません。例えば今日の講義は2時間、120分です。120分で120人の人が手を挙げてくれたとすると、一人質問に一分かかったら答える時間なくなっちゃうよね。できるだけそのバランスをとりながら、みんなに少しでも満足してもらえるように配慮するのが、やはり一番大切なところだな、と思います。

↓ 質問 就職活動の時にいっぱい職業があったのに、なんでアナウンサーを選んだんですか？

大学4年生の時に就職課というところに行ったら、アナウンサーの募集があったの。それを受けた時、アナウンサーになろう、なれるとか思ったわけではなくて、社会ってどんなもんなんだろう、というくらいの気持ちでした。たまたま私はTBSという会社に受かって入りましたけど、私がなにかそのためにやってきたかという、そうでもなかった。

↓ 質問 アナウンサーになって仕事が来ない時ってあったんですか？

レギュラー番組が無くなってしまふ、休止するということは沢山あります。それに私はフリーですから、フリーというのは、毎日必ず仕事がありますよ、という約束はなくて、仕事が来ればありがたい、でも来ない場合も多々ある、ということになるんですね。ずっとアナウンサーを続けたいとは思いますが、続けられるかというのは私にもわからないし、誰にもわからないことです。でもそこが面白さだとも思っています。

↓ 質問 大学するとき、アナウンサーの募集がなかったらなんの仕事をしていましたか？

銀行とかメーカーとか、外資系の企業とか新聞社とか、とにかくたくさんさんの会社でその仕事に就いている人にいろんな話を聞いてみて、そこからじゃないとわからないな、と思っていました。そのうえで、やっぱり自分は小さい頃から思っていた獣医さんになりたいと思ったかもしれない。だから不思議ですよ、アナウンサーという張り紙があってそこに面接に行ったからアナウンサーになりましたけど、それに出会ってなかったら受けてなかったと思います。

↓ 質問 アナウンサーの職業で自慢できることってありますか？

TBSにいた時に、大みそかの日本レコード大賞という番組にサザンオールスターズがノミネートされていたんだけど、サザンは横浜アリーナという所で年越しライブを行う予定だったので、中継を私がやることになって、その時に、サザンのリハーサルをずっと客席の隅で、最初から最後まで見ていたんです。これはすごいな、この仕事に就けてよかったな、と思いました。そういうことは何回かあります。でも、私が心からよかったな、と思えるのは、自分の同級生や、先輩後輩の結婚式の司会をできたことだと思います。私がたまたまアナウンサーの仕事をしているから、司会やってと言われて、その友達のすごく大事な瞬間に立ち会って、一緒に涙ぐんだり、幸せそうな姿を見られてよかったな、というようなことが沢山あります。それはこ

の仕事をしてよかったな、って自分でも誇れる、自慢できるところです。

┃ 質問 アナウンサーでつらい出来事がありますか？

筑紫哲也さんというニュースキャスター、もともとは記者さんなんですけど、一緒に仕事をさせてもらっていたその大先輩が病気で倒れて番組を辞めて、その後思いがけず早く亡くなった時には、本当につらかったです。アナウンサーの仕事としてではないけれど、そういうのが一番こたえることです。アナウンサーの仕事でつらいことというと、さっき言ったようにアナウ



ンサーというのは目に見えないけど沢山の人たちに接するので、すごく不安です。私が言おうとしたことが伝わらなかつたり、相手を傷つけてしまつたり、というのは、どうしても可能性としてはある。それが多分アナウンサーの仕事では一番怖くてつらいことだと思います。

┃ 質問 体調が悪くなった時に交代とかはないんですか？

ニュース番組で、1人でニュースを読むというような場合は、代わりの人はいます。2人以上でやっている番組というのは、1人が休んでもほかの人たちで出来るようにしている場合もあれば、交代の人を立てるといふ、両方の場合があります。

┃ 質問 アナウンサーで嫌になったこととかありますか？

ああ、私の力が足りないな、私アナウンサーに向かないんじゃないかな、という事は、実は毎日のようにあります。反省することは毎日のようにあります。でも嫌になったことはないです。これはありがたい事かもしれない。でも逆にいうと、よくできた、もうこれで大丈夫と思ったら、もういいや、と思っちゃうかも。私は、アナウンサーという仕事が嫌になっていないのは、多分自分がまだそこまでできていないからだと思います。

┃ 質問 なぜTBSのアナウンサーからフリーアナウンサーになったんですか？

TBSという会社は今でも大好きですし、ありがたかったなと思っています。でも、会社が自分にこういう仕事をして欲しいな、って思うことと、私がこの会社においてこういう仕事をしたいなと思うことが合わないことも、出てくる場合があります。例えば、私は記事を読んだりする仕事にやりがいを感じているので、タレントさんのように、カレンダーを出して下さい、とか、カードに写真をのせて下さい、とかいうのはしたくないな、という時に、迷いというのは生じることがあります。その時にどういう風な道を選択していくか、という事なんです。私はアナウンサーの仕事を続けたいなと思ったので、会社が望んでいる仕事を自分が出来ない時、会社とよく話し合っ、やっぱり一人でアナウンサーという仕事を続けていく、その方がお互いのためだな、と思ったので辞めました。

最後の最後になりますけど、どんな悩みが出てきても、皆さんその悩みを栄養にして、そしてお父さんとお母さんに相談しながら色々な悩みを抱えながら、すごく大きなカッコいい大人になって欲しいな、と願っています。手を挙げてくれたのに、全部答えられなくて、ごめんなさい。ではこれで私の授業は終わります。ありがとうございました。

子ども大学かわごえ

学長 遠藤克弥

事務局

NPO法人子ども大学かわごえ

〒350-1109 川越市霞ヶ関北 3-12-6

霞ヶ関北自治会館内



H-P <http://www.cuk.or.jp>

TEL 080-2053-2991 (事務局直通)

FAX 049-233-1640F

E-MAIL [info@cuk.or.jp](mailto:info@cuk.or.jp)